

## コプト語(ボハイラ方言)動詞用法ノート

塚本, 明廣  
佐賀大学文化教育学部

<https://doi.org/10.15017/24484>

---

出版情報 : 九州大学言語学論集. 32, pp.187-202, 2011. Department of Linguistics, Faculty of Humanities, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

# コプト語（ボハイラ方言）動詞用法ノート

塚本明廣

(佐賀大学文化教育学部)

tsukamoa@cc.saga-u.ac.jp

キーワード：旧約聖書、ヨセフ物語、動詞

## 1 コプト語動詞語幹<sup>1</sup>

コプト語動詞には 20 前後の語幹があり、一部の語幹は形式と意味に互に対応関係がある。例えば「現在形 1・2・3」と「未来形 1・2・3」の場合。一方「完了形」には「1・2」の区別しかなく、用法が一部で重なり、「未完了形」との対応がない。否定形では「現在形・未来形・完了形・未完了形」にそれぞれ 1 形式が存在する。このような体系の非対称性はコプト語に限らない。どの言語でも具体的用法となると個々の文脈に依存する。本稿はその種の研究糸口としての一試論に過ぎないが、少なくとも博言学的関心には応えられよう。

## 2 旧約聖書「創世記」ヨセフ物語

動詞の分析対象に旧約聖書を選んだのは他言語訳を参照するためであり、この物語を選んだのは話の筋が辿り易いからである。第 41 章を選んだのは、夢とうつつ、予言と実現の交代が時制の交錯を辿るのに最適だからである<sup>2</sup>。

別表には、日本語訳<sup>3</sup>、ヘブライ語本文<sup>4</sup>、コプト語訳<sup>5</sup>、ギリシャ語七十人訳聖書本文<sup>6</sup>を対照表示した。一覧表に収めるために寸断されたものの、日本語訳はほぼ全文を掲げた。他言語については日本語訳の太字の語に相当する動詞形のみを掲げた。語義は、文脈から許容できて大きく外れない限りは一々掲げなかった。コプト語動詞の用例を文脈に辿ることを優先したのである。

ヘブライ語聖書本文については成立過程に関する「複雑怪奇」な問題が存在

<sup>1</sup> Mallon, Alexis, S.J., *Grammaire copte*, Beyrouth, 1956

<sup>2</sup> ヴェスターマン, C. (山我哲雄訳) 『創世記 II』 教文館 1994, pp. 231-246, 365-372.

<sup>3</sup> 月本昭男訳「創世記」旧約聖書翻訳委員会訳『旧約聖書律法』岩波書店 2004

<sup>4</sup> *Bible Works*, Version 4.0.035p, Bible Works, 1998 (*Biblia Hebraica Stuttugartensia*)

<sup>5</sup> Peters, Melvin K.H., ed. *A Critical Edition of the Coptic (Bohairic) Pentateuch*, Vol. 1, Genesis, Atlanta, 1985

<sup>6</sup> *Bible Works*, Version 4.0.035p, Bible Works, 1998 (*Rahlfs Septuaginta*)

ヘブライ語聖書本文については成立過程に関する「複雑怪奇」な問題が存在する<sup>7</sup>。ヨセフ物語は、その問題が絡まない均一資料として認められている<sup>8</sup>。

コプト語本文は、エジプトのデルタ地帯を故地とするボハイラ方言によるものである。紀元後4世紀頃にギリシャ語からの最初の翻訳がなされた<sup>9</sup>。別表4言語の配列は、したがって本文成立順ではなく、単にコプト語をヘブライ語やギリシャ語と比較し易くしたにすぎない。

ギリシャ語訳はコプト語訳の原典という意味で参照した。両者の関係はコプト語本文を見れば明白である。頻出するギリシャ語小辞の **de** や **gar** は文中の位置さえギリシャ語の用法を踏襲し、副詞の **palin** や接続の小辞 **men...de** も使われる。その癖ギリシャ語の対応箇所には **palin** も **men...de** も無い<sup>10</sup>。これは、ギリシャ語本文と本稿のコプト語本文とが原典とその対訳という直截的關係にないこと、つまり七十人訳の本文と現行のヘブライ語本文との関係と同様の関係が示唆されているかも知れない。七十人訳聖書は聖典確立以前の別系統のヘブライ語原典から翻訳された、とされているのである<sup>11</sup>。

### 3 創世記第41章の構成 (数字は節)

本章を夢と現、予言とその成就の対比と捉えると、下の枠組みが想定される。

A 現実世界	B 仮想世界
1 枠の文 : 1 a	第1の夢 : 1 b~4 a
: 4 b~5 a	第2の夢 : 5 b~7 a
: 7 b~1 7 a	第1の夢 (再) : 1 7 b~2 1 a
: 2 1 b~2 2 a	第2の夢 (再) : 2 2 b~2 4 a
: 2 4 b	
2 枠の文 : 2 5	夢解き1 : 2 6~2 7
: 2 8	夢解き2 : 2 9~3 1
: 3 2	予言・進言 : 3 3~3 6
: 3 7	

<sup>7</sup> レヴィン.C. (山我哲雄訳) 『旧約聖書』教文館 2004, p.41 以下。文書分析の具体相については、木幡藤子「文献研究としての旧約学の諸方法」『現代聖書学講座第2巻 聖書学の方法と諸問題』教文館 1996, pp.17-42 を参照。

<sup>8</sup> ワイブレイ.R.N. (山我哲雄訳) 『モーセ五書入門』教文館 1998, p.115 以下。無論、異説もある。関根正雄『創世記』岩波文庫 1956 (1967<sup>17</sup>)

<sup>9</sup> Jellicoe, Sidney, *The Septuagint and Modern Study*, Oxford, 1968, p.256f.

<sup>10</sup> 21 節 : **palin**、ギリシャ語なし、13 節 : **men...de**、ギリシャ語 **te...de**。

<sup>11</sup> レヴィン上掲書 p.21.

3 枠の文 : 38~39	指示・命令1 : 40
: 41~44a	指示・命令2 : 44b
: 45~55a	指示・命令3 : 55b
: 56~57	

以下の表は、上の枠組みに従って各言語の動詞形式別に頻度数を見たものである（最上段に上の枠組み、左欄に動詞形式、太字は合計数である）。

コプト語 <sup>12</sup>	A1	A2	A3	<b>A</b>	B1	B2	B3	<b>B</b>
完了形1	35	4	30	<b>69</b>	8	--	--	<b>8</b>
完了形2	1	1	1	<b>3</b>	--	--	--	--
peje 「言った」	2	1	5	<b>8</b>	--	--	--	--
未完了形	1	--	3	<b>4</b>	13	1	--	<b>14</b>
現在形1	4	--	1	<b>5</b>	--	2	--	<b>2</b>
現在形3	2	--	--	<b>2</b>	1	2	1	<b>4</b>
未来形1	--	4	1	<b>5</b>	--	3	--	<b>3</b>
未来形3	--	--	--	--	--	--	1	<b>1</b>
否定未来形	1	--	--	<b>1</b>	--	2	1	<b>3</b>
強意形	--	--	--	--	--	6	3	<b>9</b>
願望形	--	--	--	--	--	5	--	<b>5</b>
期限形3	--	--	1	<b>1</b>	--	--	--	--

<sup>12</sup> ①peje : A にのみ例証される。②現在形1 : A1 の2例とA3 の1例は恒常的事実に、B2 の2例は予言に関する。③現在形3 : A1 の2例 eu=jO は「曰く」の意の定型句である。さらに次ページを参照。

未然形	--	--	1	1	--	--	--	--
命令形	--	--	--	--	--	2	2	4
不定詞	--	--	2	2	--	--	--	--

別表で省いた現在形 3 は他言語の形容詞に対応する<sup>13</sup>（下表の節番号右側の斜線はヘブライ語のみの、左側の斜線はコプト語のみの例証を意味する）。

日本語	ヘブライ語	節	コプト語
姿が美しく	y_po:t mar'e ***	2,4 /20	eth.nane.u Hen pou.smot eth.nane.u
形の美しい	y_po:t to:'ar	18	e.nane.u Hen pou.smot
見事な	To:bo:t	5,22 24(+),26,26	e.nane.u eth.nane.u (+et.jont)
肥え太った	b_ri:'o:t ba:\$a:r b_ri:'o:t	2,18 4,20/4 /20	eu=sotp Hen nou.afoui eu=sotp Hen nou.afoui et.sotp
豊かに詰った	b_ri:'o:t, m_le:'o:t	7	et.sotp, et.jont
豊かに実って	b_ri:'o:t	5	eu=jont
実がつまって	m_le:'o:t	22	eu=jont
姿が醜く	ra:co:t mar'e	3,4/3 /4	eu=jaiOou Hen pou.smot et.jaiOou
形が醜く	ra:co:t to:'ar	19	eu=jaiOou Hen pou.smot
痩せて醜い	raqqo:t, ra:co:t	20,27	et.jaiOou, et.Som
痩せて	re:qo:t	27	et.Som
痩せ細った	daqqo:t ba:\$a:r raqqo:t ba:\$a:r	3,4/3 /4 19	eu=Som Hen nou.afoui eu=Som Hen nou.sarks eu=Som Hen nou.afoui
細くて/細い	daqqo:t	6,7,23,24	eu=Som
東風で干れた	S_du:po:t qa:di:m	6,23.27/6,7,23 /24,27	eu=oi n.jim.pheh et.oi n.jim.pheh
貧弱で	dallo:t	19	eu=hOou
実がなくて	Z_numo:t	23	***
激しい	ka:be:d	31	ef=jor

<sup>13</sup> Mallon, 380. 例証形の内、= を伴う形式が動詞で、無い形式が形容詞である。

ヘブライ語 <sup>14</sup>	A1	A2	A3	A	B1	B2	B3	B
単独型完了形	9	3	16	<b>28</b>	3	--	--	<b>3</b>
ワウ型完了形	28	2	30	<b>58</b>	8	--	--	<b>8</b>
単独型未完了形	2	--	2	<b>4</b>	--	10	6	<b>16</b>
ワウ型未完了形	--	--	--	--	--	6	--	<b>6</b>
命令形	--	--	1	<b>1</b>	--	--	1	<b>1</b>
分詞形	2	4	--	<b>6</b>	10	1	--	<b>11</b>
不定詞自立型	--	--	1	<b>1</b>	--	--	--	--
不定詞拘束型	3	1	3	<b>7</b>	--	--	--	--
ギリシャ語 <sup>15</sup>	A1	A2	A3	A	B1	B2	B3	B
アオリスト	30	4	38	<b>72</b>	7	--	--	<b>7</b>
完了形	2	1	--	<b>3</b>	--	--	--	--
未完了形	4	--	7	<b>11</b>	13	--	--	<b>13</b>

<sup>14</sup> 本稿のワウ型完了形とは完了の機能を持つワウ未完了形を指す。これについては、松田伊作「ヘブライ語」『言語学大辞典第3巻』三省堂1992, p.928rを、「確述意識」については「聖書ヘブライ語第4号 14.8 完了形の意味」1986年2月キリスト教図書出版社 p.6-7を参照。故にB2のワウ型未完了形は単独型完了形が含まれる。

①単独型未完了形：A1の2例は恒常的事実を表し、A3の1例は前置詞句 *b\_ Terem* との一致による。②命令形：A3の *r\_ e*：「見よ」は間投詞とも取れる。③分詞形：A1では夢や回想の導入に、A2では神意を表現する。④不定詞拘束形：A1は全て *le: mo: r* 「曰く」の意の定型句である。

<sup>15</sup> ①現在形：B2の4例は繫辞としての用法である。②idou：Bでは全て間投詞化しているが、Aはいずれとも解釈できる。③分詞・現在形：A1は *legOn, legontOn* 「曰く」の意の定型句である。④不定詞・現在形：A3の2例はアオリストの目的語である。⑤不定詞・完了形：B1の2例は未完了形の目的語である。

現在形	2	3	3	8	--	5	--	5
未来形	1	2	1	4	--	9	4	13
命令・アオリスト	--	--	--	--	--	8	1	9
idou (間投詞)	--	--	1	1	3	1	--	4
命令・現在形	--	--	--	--	--	--	1	1
分詞・アオリスト	5	--	--	5	--	--	--	--
分詞・現在形	3	--	--	3	--	1	--	1
分詞・未来形	--	--	--	--	--	1	--	1
不定詞・アオリスト	3	2	3	8	--	--	--	--
不定詞・現在形	--	--	2	2	--	--	--	--
不定詞・完了形	--	--	--	--	2	--	--	2
接続法・アオリスト	--	--	--	--	--	--	1	1

#### 4 まとめ

動詞語幹の偏在は夢と現の枠組みに対応してどの言語にも見られる。時間軸に沿った現実体験を連ねる語りである A 群には、コプト語では完了 1 形が、ギリシャ語ではアオリスト (分詞・不定詞も含む) が、ヘブライ語では単独型完了形または頻度は遥かに多い同等機能のワウ型完了形が頻用される。語り手が作者であれ登場人物であれ変わらない。夢、予言、期待を述べる B 群には、共に未完了形や命令形が偏在する。これらは想定されたことである。コプト語ではさらに強意形・願望形が、ギリシャ語では未来形が、ヘブライ語では 2 種の未完了形が B 群に偏在する。これも予想できぬことではない。

むしろ注目すべきは A・B 両群に跨って例証される形式である。たとえばコプト語の完了形 1 は B 群にも現れ、いずれも (4,7,20,24 節) 夢の結末部分である。A 群に現れる未完了形 1 の内 3 例 (12,46,56 節) は動詞 xE 「据える」に関わる。今後検討すべきは、このような文脈依存の用法であると思われる。

## 別表

節	J	BHS	C	LXX
1	二年が過ぎ去ったころ、 ファラオは夢を見た。 みれば、 彼はナイルのほとりに佇んでいた。	way_hi: xo:le:m [分] hinne: みよ co:me:d [分]	as=SOpi ,cf.41:8 af=nau isjek まるで naf=ohi [未完] pe	egeneto eiden Oieto [未完]思われた estanai [不完]
2	すると、ナイル河から姿が美しく、肥え太 った七頭の雌牛が上がって来て、 岸辺の草むらで草をはんでいた。	hinne: co:lo:t [分] wattircena:	hEppe みよ nau=nEou [未完] pe nau=moni [未完] pe	idou みよ anebainon [未完] eboskonto [未完]
3	すると、その後に、痩せ細った 別の七頭の雌牛が上がって来て、 雌牛の脇に佇んだかと思うと、	hinne: co:lo:t [分] wattac_mo:d_na:	*** nau=nEou [未完] -- nau=moni [未完] --	*** anebainon [未完] enemonto [未完]
4	痩せ牛は肥えた牛を食尽くしてしまった。 そこでファラオは目を覚ました。	watto:kalna: wayyi:qaZ	a 主, au=Omk af=tOn.f	katephagon EgerthE
5	また、彼は眠り、 二度目の夢を見た。 みれば、七つの穂が一本の茎から 出ており、豊かに実って見事であった。	wayyi:Son wayyax_lo:m hinne: co:lo:t [分]	*** af=nau hEppe nau=nEou [未完] --	*** enupniasthE idou anebainon [未完]
6	すると、その後に干からびた 七つの穂が生えて来たかと思うと、	hinne: Zo:m_xo:t [分]	isje nau=nEou [未完] --	*** anephuonto [未完]
7	実のつまった穂を呑み込んでしまった。 そこでファラオは目を覚ました。 それは夢であった。	wattiblac_na: wayyi:qaZ hinne:	a 主, au=Omk af=tOn.f (名詞文)	katepion EgerthE En [未完]だった
8	翌朝、 彼は胸騒ぎを覚え、 使いを出して、 祭司と賢者をすべて呼び寄せた。	way_hi: wattippa:cem wayyiSlax wayyiqra:	as=SOpi,eta SOpi [完 2] as=Sthorter af=ouOrp af=mouT	egeneto etaraxthE aposteilas[分] ekalesen



	ファラオはその夢を語って聞かせたが、それを夢解く者はいなかった。	way_sappe:r 'e:n [副]	a 主 je ne mmon[副]	diEgEsato ouk En [未完]いなかった
9	ときに、献酌官の長がファラオに語って、言った、 「今日は、わが罪を申し述べてみます。」	way_dabbe:r le:mo:r 曰く mazki:r [分]	a 主 saji je 曰く T=iri[現 1]想出	elalEsen legOn [分.現.s] anamimnEiskO [現]想起
10	かつてファラオは憤激され、私と調理官の長とを、監禁所に引き渡されました。	qa:Zap wayyitte:n	af=jOnt af=xan	OrgisthE etheto
11	私と彼とは同じ夜に、夢を見ました。それぞれ夢解きを要す夢を見たのです。	wannaxal_ma: xa:la:mnu:	an=nau af=nau [s3]	eidomen eidomen
12	そこにはヘブライ人の若者がおりまして、私どもがそれぞれの夢を彼に話しますと、彼はそれを解いたのです。それぞれの夢に応じて解きました。	(副文) wann_sapper wayyiptor pa:ta:r	naf=xE [未完] an=saji af=bol.ou ***	En [未完]いた diEgEsametha sunekrinen ***
13	すると、 彼が私どもに夢解いた通りのことが起こりました。〔ファラオは〕私を元の地位に復帰させて下さり、彼の方は木にかけてしまわれました」。	way_hi: pa:tar ha:ya: he:Si:b ta:la:	as=SOpi et.af=bol.ou [従属節] as=SOpi ak=xat a=kaS.f	egenEthE [s] sunekrinen sunebE apokatasthEnai [不] kremasthEnai [不]
14	そこでファラオは使いを出して、ヨセフを呼び寄せた。 人々はただちに彼を穴蔵から出した。彼は〔髪と髭を〕剃り、衣装を替えて、ファラオのところにまかり出た。	wayyiSlax wayyiqra: way_ri:Zuhu: [p] way_gallax way_xalle:p wayya:bo:	af=ouOrp af=mouT af=en.f au=Hek [p] af=Sebt af=i	aposteilas [分] ekalesen eksEgagon [p] eksurEsan [p] Ellaksan [p] Elthen
15	ファラオはヨセフに言った、 「わしが見た夢、それを解く者がおらん。」	wayyo:mer xa:lamti: 'e:n [副]	peje ai=nau f=Sop an [現 1]受	eipen heOraka [完] ouk estin [現]いない

	ただ、わしはそちについて、 そちは夢を6聞いて それを7解く、5と 4聞いたが」。	Sa:mac_ti: le:mo:r 曰く tiSmac [未完] li.pto:r [不]	ai=sOtem eu=jO [現 3,p] k=sOtem [現 1] k=bOl [現 1]	akEkoa [完]聞く legontOn [分.現.p]曰く akousanta [分] sunkrinai [不]
16	ヨセフはファラオに答えて 言った、「私でなく 神がファラオの 安寧についてお答え下さしましょう」。	wayyacan le:mo:r 曰く yac_ne [未完]	af=er-ouO peja.f nnou=er-ouO [未.否.p3]	apokritheis [分] eipen ouk apokrithEsetai [未]
17	そこで、ファラオはヨセフに語りかけた、  「みれば、 わしはナイルの岸边に佇んでいた。	way_dabbe:r  <i>hin_ni:</i> co:me:d [分]	af=saji ef=jO [現 3] 曰く <i>isjek</i> nai=ohi [未完] --	elalEsen legOn [分.現.s]曰く OimEn [未完] estanai [不.完]
18	すると、ナイル河から肥え、形の美しい 七頭の雌牛が上がって来て、 岸边の車むらで草をはんでいた。	<i>hinne:</i> co:lo:t [分] wattircena:	<i>m.ph.rET</i> まるで nau=nEou [未完] -- nau=moni [未完] --	<i>hOsper</i> まるで anebainon [未完] enemonto [未完]
19	すると、その後が続いて、 痩せた別の七頭の雌牛が上がって来た。 こんなひどいのは見たことがなかった。	<i>hinne:</i> co:lo:t [分] lo:-ra:'i:ti:	<i>hEppe is</i> nau=nEou [未完] -- mpi=nau [否]	idou anebainon [未完] ouk eidon
20	しかも、食い尽くしてしまったのだ。	watto:kalna:	a 主,au=Omk	katephagon
21	それらは腹に入ったが、 腹に3入ったことも 2わからず、 相変わらず、その姿は醜いままであった。 そこでわしは目を覚ました。	watta:bo:na: lo: no:dac [s3] ba:'u: 入る  wa:'i:qa:Z	au=SenO.ou mpou=ouOnh [否] au=SenO.ou nare 主 jaiOou [未完] pe ai=tOn.t ai=nkot	eisElthon ouk egenonto にならず eisElthon  eksegertheis [分]醒めたが ekoimEthEn 眠った
22	わしはまた夢を見た。 みると、七つの穂が一本の〔麦の〕茎から 出ており、〔実が〕つまって見事であっ	wa:'e:re <i>hinne:</i> co:lo:t [分]	ai=nau  eu=nEou [現 3]出る	eidon  anebainon [未完]

	た。			
23	すると、その後に細く干からびた七つの穂が生えて来たかと思うと、	<i>hinne:</i> Zo:m_xo:t [分]	*** nau=nEou [未完] pe	*** anephuonto [未完]
24	細い穂は見事な穂を呑込んでしまった。わしは占い祭司たちに聞かせたが、〔その意味を〕告げる者はおらなかった。	wattiblac_na: wa:'o:mar 'e:n [副]	a 主, au=Omk ai=je ne mmon[副]	katepion eipa ouk En [未完]
25	ヨセフはファラオに言った、「ファラオの夢[の意味]は一つで、神がなさろうとしていることをファラオに告げているのです。	wayyo:mer  co:\$e [分] higgi:d	peje 主  na=ait.ou [未 1] af=tame	eipen estin [現]です poiei [現] edeiksen
26	見事な七頭の雌牛は七年、見事な七つの穂も七年ということです。それ[ら]は同じ夢です。	he:nna: それらは he:nna: それらは hu: それは	ne それらは ne それらは te それは	estin [現]です estin [現]です estin [現]です
27	そのあとについて上がって来た、痩せて醜い雌牛も七年のこと、痩せて、干からびた七つの穂もそうです。七年の飢饉が起こるのです。	he:nna: それらは  yihyu: [未完]	nau=nEou [未完] -- ne それらは ne それらは eue=SOpi [強]	estin [現]です  esontai [未]
28	私が申上げたことは次のことです。神はご自分がなさろうとしていることを[夢で]ファラオにお見せになったのです。	dibbarti: co:\$e [分] her'a:	et.ai=jo.f [完 2] na=ait.ou [未 1] af=tame 告げた	eirEka [完] poiei [現] edeiksen 示した
29	つまり、今から七年、エジプト全土は大豊作になります。	<i>hinne:</i> ba:'o:t [分]	<i>hEppe is</i> se=nEou [現 1]	idou erxetai [現]
30	ところが、その後に飢饉が起こるのです。豊作のことなどすべて忘れ去られます。飢饉が国を疲弊させるからです。	w_qa:mu: w_niSkax w_killa: 終わらせる	eue=i [強] eue=er-p.ObS [強] ere mounk[強] 壊す	hEksei [未] epilEsontai [未] analOsei [未]壊す
31	その後に起こる飢饉のために、		nnou=souen [未.否]	ouk epignOsthEsetai[未]

	国にあった豊作のことは 気にも留められなくなります。 飢饉があまりにも激しいからです。	lo:-yiwwa:dac [未完] ka:be:d	eth.na=SOpi [未 1]起 efe=SOpi [強]起 ef=jor [現 3]	esomenou [分.未]起 estai [未]成 ***
32	ファラオの夢が二度も繰り返された のは、このことが神によって定められ、 神がすみやかに これを実行なさろうとしているから。	na:ko:n [分]確か m_mahe:r [分] la.c_ \$o:t.o: [不]	as=er-{2}T 再 fna=er-methmEi [未 1] 確か na=ai.f [未 1]	deuterOsai [不]再 estai [未]なろう taxunei [未] poiEsai [不]
33	ファラオは今すぐ賢い人物を捜し出し、 彼を上立たせられますように。	ye:re [未完] wi:Si:te:hu: [未完]	socni [命]考慮する taho.f [命]	skepsai[命]捜 katastEson[命]
34	ファラオご自身が〔それを〕果たし、 国中に管理官を任命して、 豊作の七年間、国から〔収穫の〕 五分の一を徴収なさいますように。	yac_ \$e [未完.s3] w_yapqe:d [未完.s] w_ximme:S [s]	maref=iri [願,s3] maref=xO [願,s3] marou=ci [願,p3]取る	poiEsatO [命.s3] katastEsatO [命.s3] apopemptOsatOsan [命.p3]供出す
35	これから続く豊作の七年間、 彼らに食糧を集めさせ、町々にて穀物を 食糧としてファラオの管理下に集積し、 〔これを〕保管させるのです。	w_yiqb_Zu:[未完.p] w_yiZb_ru: [未完.p] w_Sa:ma:ru: [p]	marou=thouet [願.p3] 0 na=i [未 1]来る marou=thouet [願.p3] n.se=areh [現 1]	sunagagetOsan [命.p3] 0 erxomenOn [分.現.p] sunaxthEtO [命.p3] phuraxthEtO [命.受]
36	その食糧は、エジプトを2襲う 飢饉に備えた 備蓄と1なり、飢饉によって 絶ち滅びることはないでしょう」。	w_ha:ya: tihyena: [未完,p] lo:-tikka:re:t [未完]	eue=SOpi [強] eu=areh [現 3] 保管 eth.na.SOpi [未 1] nne fOT [未.否]	estai [未] esontai [未] ouk ektribEsetai [未]
37	この言葉にみな感心した。	wayyi:Tab	a 主 ran	Eresen
38	ファラオは僕たちに言った、 「このように神の霊が0宿る人を〔他に〕 2見つけられようか」。	wayyo:mer nimZa: [未完.p]	peje 主 mE tenna=jem [未 1]	eipen mE heurEsomen [未] 0 exei [現]持つ
39	ファラオはヨセフに言った、 「神がそちに知らせたからには、	wayyo:mer ho:di:ac	peje 主 a 主 tamo.k	eipen edeiksen

	そちほどに賢い者は〔他には〕いまい。	'e:n [副]	mmon ouoh [副]	ouk estin [現]
40	わが宮廷を治めてもらいたい。 わが民はすべて、そちの命令に従おう。 王座〔にあるという意味〕においてのみ、 わしはそちの上に立つことにしよう。』。	tihye [未完] yiSSaq [未完] 'egdal [未完]	eke=SOpi [強] efe=sOtem [強] eie=SOpi [強] ei=josi [現 3]	esEi[未] hupakousetai[未] huperaksO[未]
41	ファラオはまたヨセフに言った、 「見るがよい、わしはそちを エジプト全土を治める者とした」。	wayyo:mer r_'e: [命] na:tatti:	peje 主 <i>hEppe</i> T=xO [現 1]	eipen idou katistEmi[現]
42	ファラオは手から指輪をはずし、 それをヨセフの手にはめた。 また、細織亜麻の衣装を彼に着せ、 金の首飾りをその首にかけた。	wayya:sar wayyitte:n wayyalbe:S wayya:\$em	a 主 el af=tEi.f af=T af=T	*** periethEken enedusen periethEken
43	そして、第二の車にヨセフを乗せた。 人々は彼の前でアブレクと叫んだ。 ***	wayyarke:b wayyiqr_'u: [p] w_.na:to:n [不.自立]	af=talo.f (先触れが) OS [現 1] af=xa.f	anebibasen ekEruksen [s3] katesthEsen
44	ファラオはヨセフに言った、 「エジプト全土、そちの許可なくしては、 誰も勝手に行動することは許されない」。	wayyo:mer lo:-ya:ri:m [未完]	peje 主 nne 主 ini [未.否]	eipen ouk eksarei [未]
45	ファラオはヨセフを Z-p と呼び、 祭司の娘アセナトを妻として与えた。 ヨセフはエジプトの地の視察に出た。	wayyiqra: wayyitten wayye:Ze:	a 主 mouT af=T ***	ekalesen edOken ***
46	ヨセフはファラオの前に 1 立った時、 三十歳であった。 ヨセフはファラオの前を辞し、 エジプト全土を巡回した。	b_.comd.o: [不] 立 wayye:Ze: wayyac_bo:r	0 naf=xE [未完]だった etaf=ohi [完 2]立 af=i af=sini	0 En [未完]だった estE 立 eksElthen diElthen
47	豊作の七年間、 地は目一杯の稔りを生じた。	wattaca\$	0 au=i 来る af=iri	epoiEsen

48	エジプトの地に2 臨んだ[豊作の]七年、ヨセフはすべての食糧を1 集め、食糧を町々に蓄えた。つまり、町の周囲にある畑の[産する]食糧を町中に蓄えた。	wayyiqbo:Z 集 ha:yu: あった wayyitten na:tan	af=thOouT 集 et.a SOpi あった af=xa af=xa.u	sunEgagen 集 En [未完]あった ethEken ethEken
49	ヨセフは穀物を大量に集積し、ついには、4 量り切れないほどになったので、3 量ることを2 やめた。	wayyiZbo:r xa:dal li.s_po:r [不]数える 'e:n [副]	a 主 thouet 4 SatouStem=jemjom [期 3],ci-Epi[不] ne mmon 主 pe [副]	sunEgagen ouk Edunanto [未完] arithmEsai [不] ouk En [未完]なかった
50	飢饉の年が2 訪れる前に、ヨセフに二人の息子が1 生まれた。祭司の娘アセナトが生んだのである。	yullad ta:bo: ya:l_da:	a 主 SOpi mpatou=i [然] as=mas.ou	egenonto [中] elthein [不] eteken
51	ヨセフはマナセと名づけて[言った]、「神はわが労苦と父の家のことをすべて忘れさせて下さった。	wayyiqra: naSSani:	a 主 T-ren a 主 thri.er-p.ObS	ekalesen epilathesthai [不]忘れる epoiEsen～させる
52	二番目をエフライムと名づけて言った、「神はわが苦難の地でわが子孫を増やして下さった」。	qa:ra: hiprani:	af=T-ren.f a 主 thri.aiai	ekalesen EuksEsen
53	エジプトの地に2 臨んだ豊作の七年が1 終り、	wattiklena: ha:ya:	au=sini et.au=SOpi	parElthon egenonto
54	ヨセフが3 言った通り、飢饉の七年が1,2 始まった。  飢饉はあらゆる国に及んだが、エジプトには食物 [の蓄え] があった。	watt_xillena: 始 la:bo: [不]起こる 'a:mar 言った way_hi: ha:ya:	af=er-hEts *** et.a jo.s a 主 SOpi ne mmon 主 pe	Erksanto erxesthai [不.現] eipen egeneto Esan [未完]
55	エジプト全土が飢饉に陥り、民が食物を求めてファラオに叫ぶと、ファラオは全エジプト人に言った、	wattircab wayyiZcaq wayyo:mer	af=hko a 主 OS peje	epeinasen ekekraksen eipen

	「ヨセフのところに行き、 彼がお前たちに言う 通りにせよ」。	l_ku: [命.s] yo:mar [未完] tac_ \$u: [未完]	maSe.nO.ten [命] et.efna=jo.f [未 3] arit.f [命]	poreuesthe [命.現.p] eipE [接] poiEsate [命.p]
56	飢饉は地上全体を襲った。 ヨセフはすべての穀倉を開いて、 エジプト人に穀物を買わせた。 飢饉はエジプトの地で[も]激しかった。	ha:ya: wayyiptax wayyiSbo:r 売った wayyex_zaq	nare 主 xE [未完] af=ouOn naf=T [未完]与えた ***	En [未完]あった aneOiksen epOlei [未完] 売った ***
57	全地[から人々]がエジプトに1向かい、 穀物を買う入れるために、 ヨセフのところへ1やって来た。 飢饉は全地に激しかったからである。	ba:'u: li.Sbo:r [不]  xa:zaq	au=i e.SOp [不]受取る  a 主 jem-nomT	Elthon [p]来た agorazein [不.現]  epekratEsen 支配する

言語毎の転写方式：

ヘブライ語：' b g d h w z x T y k l m n s c p Z q r S \$ t

コプト語： a b g d e z E t h i k l m n k s o p r s t u p h x p s O S f H h j c T

ギリシャ語： a b g d e z E t h i k l m n k s o p h x p s O

動詞語幹略号：

ヘブライ語：[未完]了形,[命]令形,[分]詞,[不]定詞,他は完了形

コプト語：[完]了形,[未完]了形,[現]在形,[未]来形,[強]意形,[願]望形,[期]限形,未[然]形,[命]令形,[不]定詞,[否]定形,他は完了形

ギリシャ語：[完]了形,[未完]了形,[現]在形,[未]来形,[命]令形,[分]詞,[不]定詞,[接]続法,他はアオリスト

共通：[副]詞,[主]語,[s/p]は数,[1/2/3]は人称

## **Notes on some usages of Coptic (Bohairic) verb**

TSUKAMOTO, Akihiro

Verb stems are in some cases determined not by extra-linguistic situations but by intra-linguistic contexts, e.g. the perfect I *au=Omk* in Gen.41:4, 7, or by lexeme-specific factors, e.g. the imperfect *naf=xE* in Gen.41:12, 46.